

地質・地形の 醍醐味をさぐる



中津・山国川流域のジオルート (4)
～サイクリング・ドライブのルート～



5連石橋の馬渡橋

お願いとご注意 歩くときは危険がつきもの

- 歩いて実感するのは危険がつきもの。特に地熱地帯は高温の場所です。足元には十分注意を。沸騰している場所もあります。
- 歩くときは足元の準備、水の準備、そして体調と心の準備を。
- 別府では、自然であっても持ち主のある場所がほとんどです。見学するときは、きちんとお願いしてください。



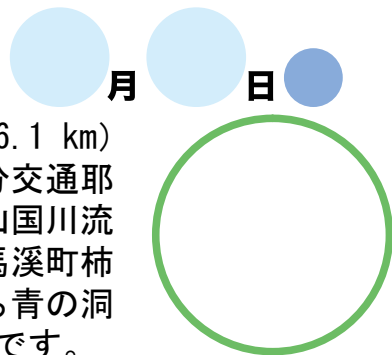
中津・山国川流域のジオルート(4)

～サイクリング・ドライブのルート～



5連石橋の馬溪橋

ハイキングの見所と目的



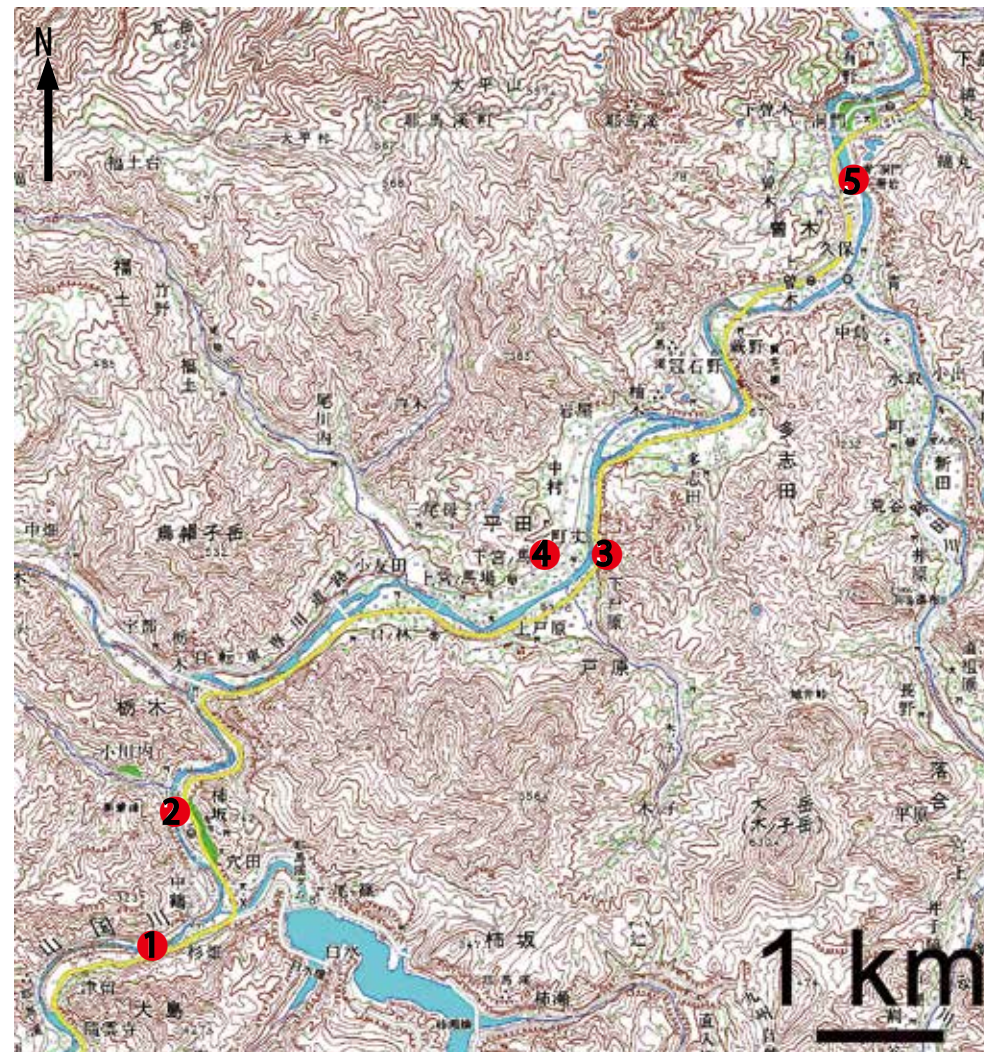
メイプル耶馬サイクリングロード (36.1 km) は、1975 (昭和50) 年に廃止された大分交通耶馬溪線の線路跡地を活用しています。山国川流域に沿ったサイクリングルートは、耶馬溪町柿坂の耶馬溪サイクリングターミナルから青の洞門まで、自転車でおおよそ1時間弱の行程です。

江戸時代後期の漢学者である頼山陽は、この地を訪れ、溪谷の美しさに驚き「耶馬溪」と称しています。溪谷の美しさに、どれほど驚いたのかを知ることが出来る場所に「擲筆峰」があり、そこに詩碑があります。

今日は、耶馬溪の景勝地をサイクリングしながら、石橋・城跡・鉄道トンネル・鉄橋など、時代の移り変わりを感じ、また、火山の岩石・岩石の変化の様子、積もった火山灰層の観察し、景勝「耶馬溪」の美しい溪谷の成り立ちを考えてみましょう。

名前:

● 観察ポイント
1～5



ハイキングコース：

～山国川中流域サイクリングルート～

- Stop 1 耶馬溪サイクリングターミナル (36.1 km)
↓ →メイプル耶馬サイクリングロード
- Stop 2 擲筆峰 (頼山陽記念碑) (自転車 5分)
↓ →耶馬溪火山岩類
- Stop 3 馬溪橋 (自転車20分)
↓ →耶馬溪火砕流堆積物と火山岩類
- Stop 4 平田城跡 (別称：白米城跡)
↓ と「立留りの景」 (自転車10分)
↓ →耶馬溪火砕流堆積物と火山岩類
- Stop 5 青の洞門 (自転車20分)
折返し→耶馬溪サイクリングターミナル

メモ 新しい発見や気づいたことなどを書き込もう！

1 耶馬溪サイクリングターミナル
→ メイプル耶馬サイクリングロード

<http://www.city-nakatsu.jp/kankodocs/2014022100011/>



耶馬溪サイクリング
ターミナル

〒871-0405 大分県中津市耶馬溪町大字柿坂353
電話:0979-54-2700
営業時間:10月~4月末...8:30~17:00
5月~9月末...8:30~19:00
(電話番号などは、最新版をご確認ください)



旧耶馬溪鉄道跡地の
サイクリンロード

2 擲筆峰(頼山陽記念碑)

→耶馬溪火山岩類 (溶岩および火砕流:凝灰角礫岩)



擲筆峰



頼山陽の碑

「此の山に至り筆を投じて嘆ず」「嗚呼造物奇怪, 画手亦写し至らざるものあり」とし、頼山陽が筆を置いた景勝地です。頼山陽の詩碑が立ち、頼山陽祭が行われています。



頼山陽も嘆く現代版の嗚呼造物奇怪の
コンクリート

3 馬溪橋



水面に映る馬溪橋

馬溪橋は、耶馬溪の石工である甲斐伊蔵により架橋された。伊蔵は「雨でも流されない永久橋を架ける」ために、様々な努力と決意を重ねている(大正12年10月竣工)。

石材は、加工しやすい耶馬溪火砕流堆積物および火山岩類からなり、山国川支流を含め数多くの石橋が架けられています。

《国内に現存する橋長順の5傑》

- 1位 耶馬溪橋(本耶馬溪町)
橋長116.0 m, 橋幅4.1 m, 径間13.8 m, 大正12年建
- 2位 霊台橋(熊本県下益城郡) 橋長89.9 m
- 3位 羅漢寺橋(本耶馬溪町)
橋長89.0 m, 橋幅4.5 m, 径間26.2 m, 大正 9年建
- 4位 馬溪橋(耶馬溪町)
橋長82.6 m, 橋幅6.0 m, 径間13.9 m, 大正12年建
- 5位 長瀬橋(豊後大野市) 橋長78.4 m, 大正12年



橋脚が高く見栄えがする馬溪橋(下流側)



上流側より見る5連石造アーチ橋の馬溪橋

山本洋次監督「男はつらいよ」シリーズ第43作(1990年12月22日に公開)の「寅次郎の休日」で、馬溪橋を渡る寅さんが口上「わたくし、生まれも育ちも葛飾柴又です。帝釈天で産湯をつかい、姓は車、名は寅次郎、人呼んでフーテンの寅と申します」。タイトルバックに映るのは、山国川に架かる5連石造アーチ橋の馬溪橋であり、全国的に有名になった。

4 平田城跡(別称:白米城跡)と「立留りの景」 →耶馬溪火砕流堆積物と火山岩類



馬溪橋を望む平田城跡(画面上方)



忠魂碑が立つ公園

国道212号の耶馬溪平田から山国川に架かる馬溪橋を渡ると、建久年間(1190～1197年)に築城したとされる平田城跡があります。この城下は、田が広く米の生

産に恵まれているので白米城と呼ばれていました。忠魂碑が立ち、公園として親しまれています。

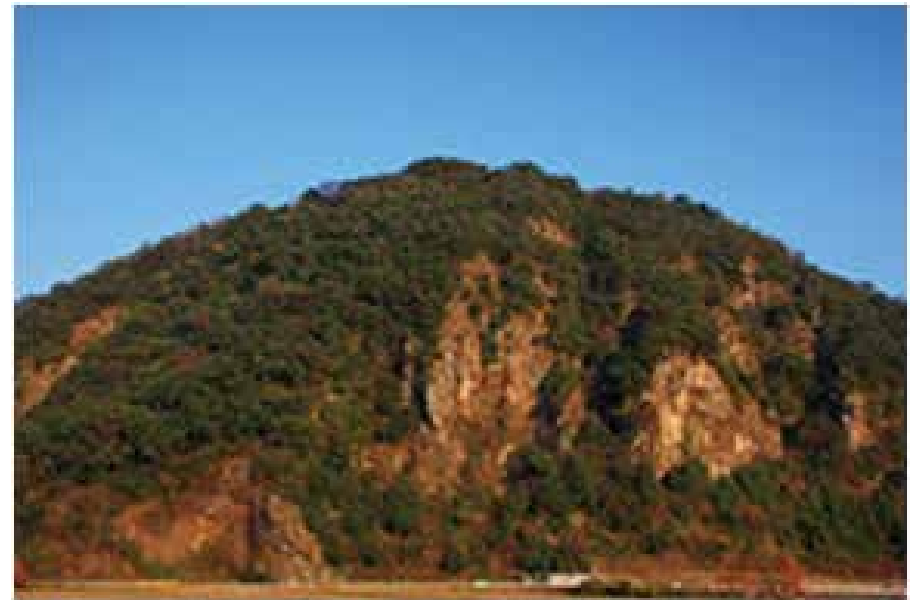
平田城跡付近の地形は、山国川上流域が浸食域にあたるため、平野の発達はよくない。この谷底平野面より数10 m 高位にある平坦面は火砕流台地で、玖珠盆地方向から流入した耶馬溪火砕流堆積物によって形成されています。

耶馬溪火砕流堆積物は、開析した谷を埋積するように堆積しており、低い台地として山国川本流に沿って点在しています。

特に平田城跡一帯には典型的にみられ、谷底平野面から20 m程度の比高を持つ耶馬溪火砕流台地に位置しています。

平田城跡の台地、石積みおよびその周辺の石垣からも当時の状況を垣間見ると、対岸に耶馬溪火山岩類(凝灰岩角礫岩)の「立留りの景」が映えます。

国道212号を耶馬溪方面に進み、耶馬溪町平田の手前国道沿い、背後の岩山で対岸から良く見ることができます。国道212号に接する巨岩の山で、この下を通過するとき今にも巨岩が落下しそうな恐怖さえ覚えます。この景色は、今から200年前に、一夜轟然と大音響を発して崩落して今日の景をなしたといえます。対岸から眺めると、風景はすこぶる絶景です。この景色は、道行く人も立ち留まって眺めるので、この名がついたとされます。



立留りの景

5 青の洞門



青の洞門の上に
そそり立つ競秀峰

山国川右岸(本耶馬溪町青)に、世界で最初最長の手掘りトンネルがある。禅海和尚が溶岩と凝灰角礫岩の岩壁を30年かけて掘りぬいて造った「青の洞門」です。

更新世～後期鮮新世の火山活動による噴出物である耶馬溪火山岩類(溶岩と火砕流)からなります。この堆積層が浸食作用を受け、青の洞門の上にそそり立つ競秀峰等を形成し、典型的な集塊岩の風景を呈しています。

○ 折返し→耶馬溪サイクリングターミナル

山あいを走る耶馬溪鉄道廃線跡を利用し、奇岩で有名な耶馬溪路などの景勝地を走りましょう。

鉄道トンネルや鉄橋なども残る多彩なコースで、鉄道跡のため勾配も緩やかです。

2003年に一新した耶馬溪サイクリングターミナルは、貸自転車のほかシャワー施設や宿泊設備なども備えています。



サイクリングターミナル

メモ 新しい発見や気づいたことなどを書き込もう!

ハイキングの見所と目的

私たちの住んでいる中津の平野や台地は、どのようにしてできたのか知っていますか？現在の中津市内の平野は、山国川によって運ばれた土砂が堆積し、台地は火山活動によってつくられました。また、耶馬溪日田英彦山国定公園に属する「耶馬溪」の美しい渓谷などの風景地も、火山活動による岩石・岩石の変質と、河川浸食と堆積などが相互に関連して形成されています。

今日は、山国川沿いにある「道の駅」をドライブしながら、火山の岩石・岩石の変化の様子や、堆積した火山灰層を観察して中津の成り立ちを考え、また地域の遺跡や物産を見ながら土地活用などについても考えてみましょう。

ハイキングコース：

～山国川流域「道の駅」ドライブルート～

Stop 1 道の駅「なかつ」

↓ →犬丸川地域の法垣遺跡

Stop 2 道の駅「耶馬トピア」

↓ →青の洞門・古羅漢

Stop 3 洵菜館

↓ →金吉谷の景観

Stop 4 道の駅「やまく」

→羽高(はだか)棚田と英彦山火山岩類

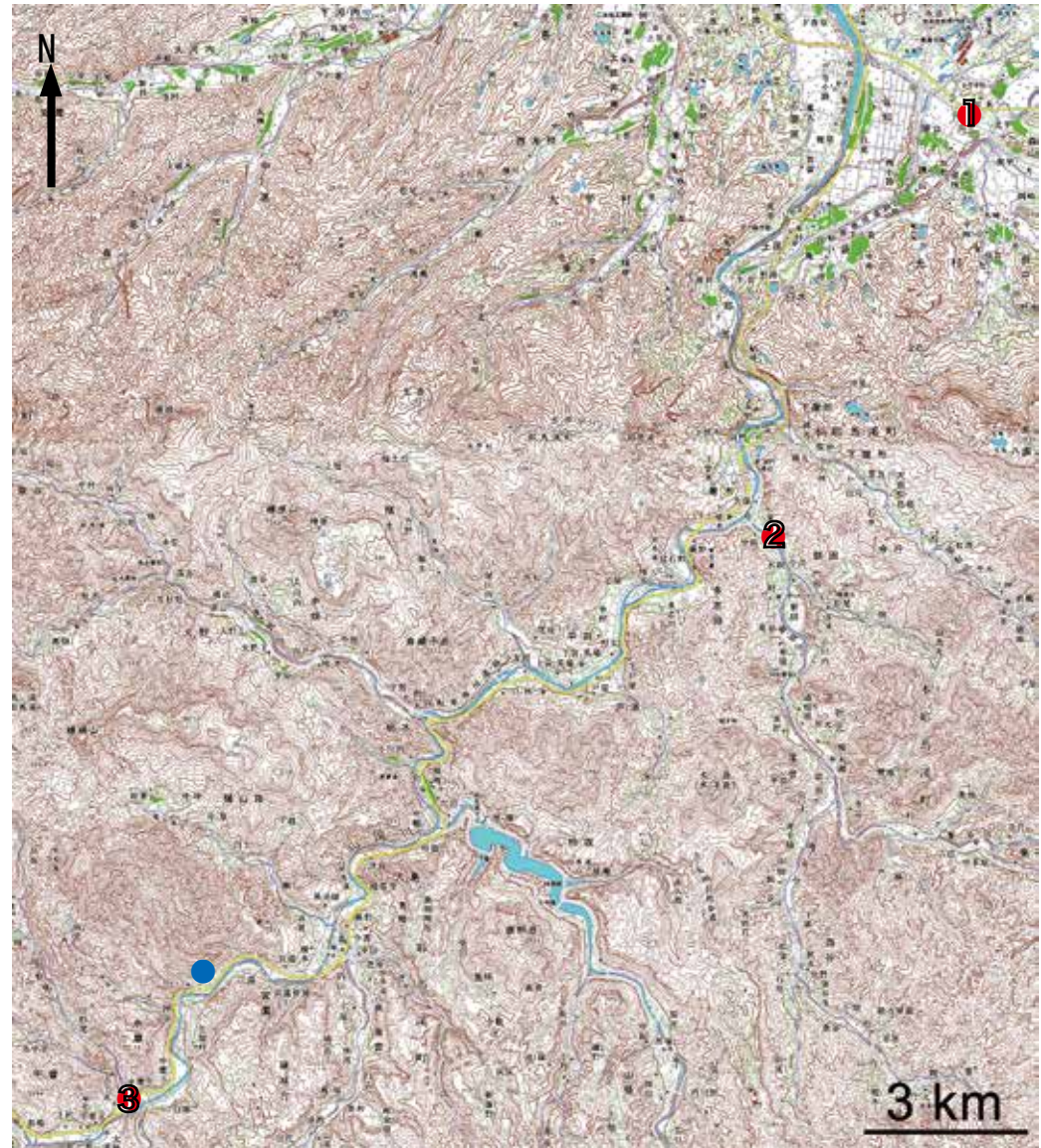
ビューポイント

・ ーッ城跡 →石垣の石積み



羽高棚田

- 観察ポイント
1～3
- ビューポイント



1 道の駅「なかつ」→犬丸川地域の法垣遺跡



法垣遺跡と後方の八面山(犬丸川の源流)

道の駅「なかつ」は、国道10号中津バイパスで、八面山を源流とする犬丸川沿いに位置します。建物は城下町の町屋をイメージし、敷地内にある旧石器時代の法垣遺跡が整備されています。

所在地: 大分県中津市大字加来814番地

電話番号: 0979-64-8830 ※電話番号などは最新情報をご確認ください

最寄り道路: 国道10号

営業時間: 9:00~19:00

(12/31は9:00~17:00 休館日 1月1~2日)



城下町をイメージした町屋風の建物

2 道の駅「耶馬トピア」→青の洞門・古羅漢



古羅漢の景を望む

道の駅「耶馬トピア」は、国道500号沿いの史跡「青の洞門」と「羅漢寺」の間に位置します。併設の耶馬溪風物館では、耶馬溪の文化に触られます。

また、周辺の景観は青の洞門、羅漢寺や古羅漢を形成している耶馬溪火砕流堆積物の状況を見渡せます。

所在地: 大分県中津市本耶馬溪町大字曾木2193-1

電話番号: 0979-52-3030 ※電話番号などは最新情報をご確認ください

最寄り道路: 国道212号交差点より約1 km

営業時間: 10:00~16:30

休館日: 毎週木曜日と1月1~2日



耶馬トピア周辺

3 洵菜館 →金吉谷の景観



清水谷・明光山・三方岩城(伊福の景)

金吉川の上流の一帯に沿って、山浦・提鶴・幸田峡・伊福の各景等において、耶馬溪溶結凝灰岩からなる岩峰や岩壁の風景地を見ることができます。

また、この地域周辺の鹿熊岳では、耶馬溪火砕流堆積物のユニットが見られ、地層の下から順に硬い部分で黒色のガラス質強溶結、同じ硬い部分からガラス質が抜けてしまった灰色溶結部、淡茶色の脆い部分で、弱溶結～非溶結部が観察できます。



伊福の景(猿の群岩)



耶馬溪ふるさと村「旬菜館」

所在地:大分県中津市耶馬溪町大字大島222

電話番号:0979-54-3555 ※電話番号などは最新情報をご確認ください

最寄り道路:国道212号

営業時間:9:00~18:00

4 道の駅「やまくに」 →羽高(はだか)棚田と英彦山火山岩類



羽高(はだか)棚田



道の駅「やまくに」

道の駅やまくには国道212号沿いにあり、大分県中津市山国町中摩羽高地区の羽高(はだか)棚田は、「日本棚田100選」に選ばれた棚田です。中摩殿畑山の山麓に位置する棚田は、戦国時代～江戸時代に開墾された当時の石積みが残っており、石積みの棚田が保全されています。

周辺には、英彦山火山岩類の鷲岩や京岩の景などの奇岩群があり、この大岩峰を借景して作庭したと伝えられる雪舟の庭が付近にあります。

所在地:大分県中津市山国町中摩358番地4

電話番号:0979-62-3680

※電話番号などは最新情報をご確認ください

FAX:0979-62-3680

営業時間 9:00~18:00(年中無休)



戦国時代から江戸時代に開墾された当時の石積みの羽高棚田

● ビューポイント

一ツ城跡

→ 耶馬溪火山岩類（溶岩および火砕流）と
石垣の石の種類



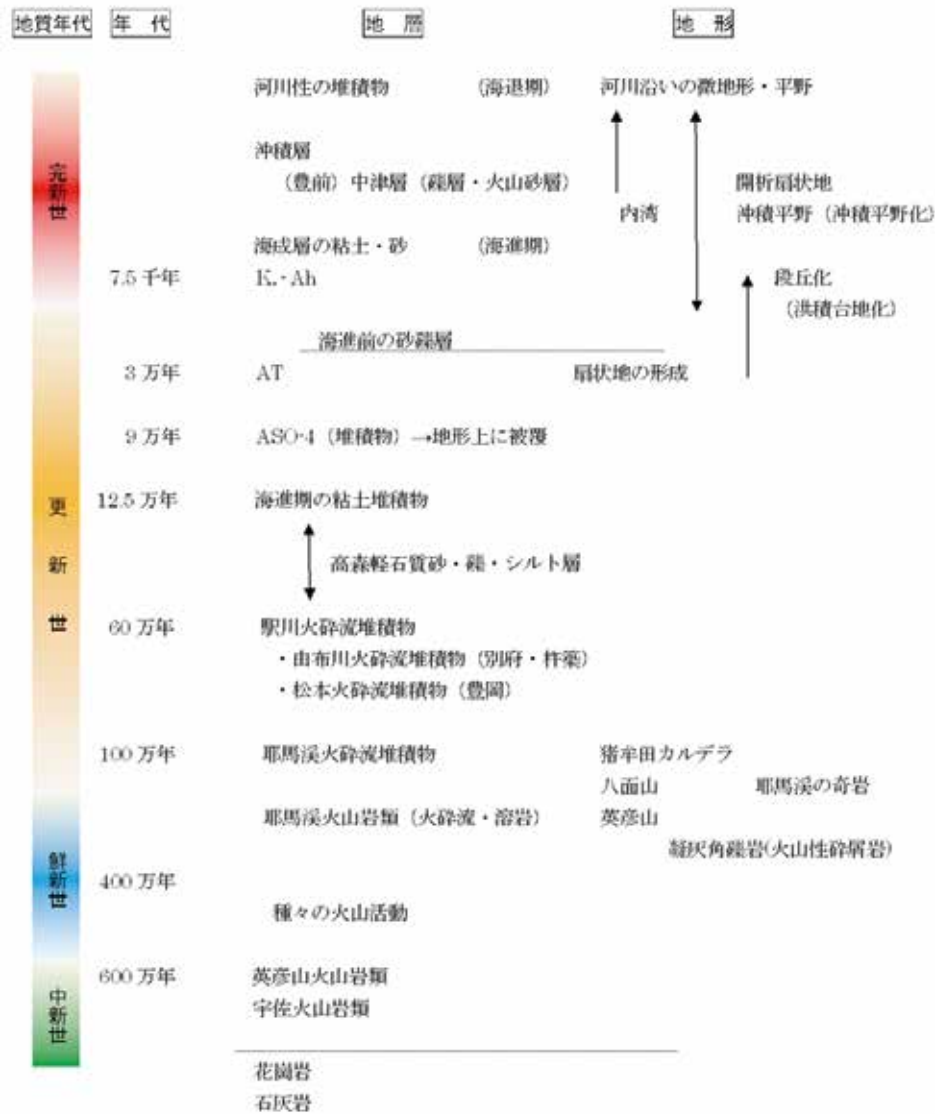
一ツ戸城山の景（一ツ戸城跡）

国道212号を日田方面に進み、耶馬溪町境の一ツ戸隧道背後の山で、山国川河川敷から良く見えます。この隧道の入り口手前の右上に、妙見嶽(364.5 m)が見えます。西側は、山国町神谷川、南側は山国川本流、北側は樋桶山(840 m)から峰続きに見えます。

頂上は、平坦で国道の上部に向けて細長く続き、石段や崖等が築造されています。本丸は、標高380 mの断崖上に築かれた堅固な山城で、雑木林の中に自然の岩石を利用して造られた石積みや石垣、曲輪等の跡があります。城門跡と見られるところから、多数の古瓦も出ています。

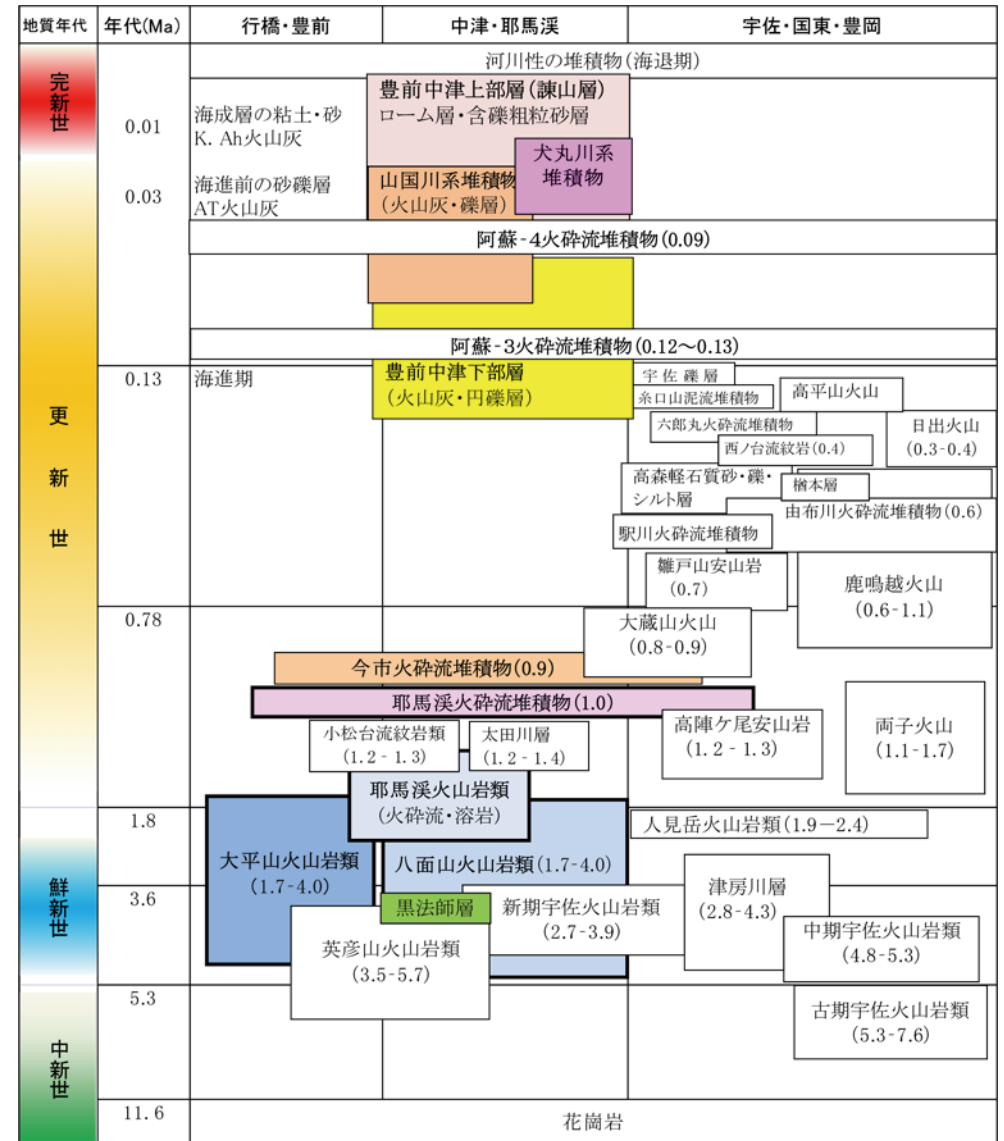
メモ 新しい発見や気づいたことなどを書き込もう！

参考資料(1)



大分県北部地域(中津・宇佐)の地層年代と地形

参考資料(2)



出典:20万分の1地質図幅「中津」産業技術総合研究所地質総合センター 平成21年10月2日発行に加筆修正

大分県北部地域(中津・耶馬溪)の層序

参考資料(3)

年代	代	記	地質・地層名および年代	ビューポイント	所在地
1800	第四紀	更新世	沖積層(豊前中津層)	中津(唐原・沖代)平野 三角州・扇状地 (網目状の流路跡・自然堤防)	中津市三口
1万8千			○阿蘇4火砕流堆積物(9万)		
			○今市火砕流堆積物(90万)		
			○耶馬溪火砕流堆積物(100万)	鹿熊(火砕流堆積物) 一日八景(新耶馬溪溶岩風景) 麗谷(新耶馬溪溶岩風景)	耶馬溪町鹿熊 耶馬溪町深耶馬溪深瀬 耶馬溪町深耶馬溪深瀬
259万	新生代	新第三紀	●耶馬溪火山岩類 ・八面山火山岩類 ・大平山火山岩類 ・釣鐘火山岩類	八面山(溶岩流台地・巨石) (檜原の溶岩台地) 大平山(青の洞門や九重連山を一望) 木ノ子岳(円錐形の浸食地形) 檜原山(溶岩台地)	三光田口 本耶馬溪町曾木 耶馬溪町戸原大岳 耶馬溪町中畑
			●英彦山火山岩類(350~570万)	結核りの滝溶岩(カンラン石を含む玄武岩)	三光白木結核
			●宇佐火山岩類(270~780万) ・新期宇佐火山岩類(270~390万) ・中期宇佐火山岩類(480~530万) ・古期宇佐火山岩類(530~760万)	洞壑の景(瀑布と峡谷) 青の洞門・鏡秀峰(凝灰角礫岩風景) 羅漢寺(凝灰角礫岩風景)	本耶馬溪町井原 本耶馬溪町曾木青 本耶馬溪町跡田
			郷筆峰(額山陽が暮れた凝灰角礫岩風景) 猿飛の巖穴群(無数のpot hole)	耶馬溪町林坂 山国町草本	
532万	中新世	古第三紀			
2303万	漸新世	始新世			
3390万	古第三紀	始新世			
5580万	中生代	白垩紀			
6550万			新期傾家花崗岩類 新期傾家花崗岩類	花崗閃緑岩 後期白垩紀の風化変形花崗岩	福岡県上唐原 福岡県古高町

山国川地域の地層・火山岩類名とビューポイントの所在地

メモ 新しい発見や気づいたことなどを書き込もう!

監修: 立石義孝・竹村恵二・下岡順直
 京都大学大学院理学研究科附属地球熱学研究施設
 〒874-0903 別府市野口原3088-176
 Tel: 0977-22-0713 Fax: 0977-22-0965